

成田山新勝寺

成田山新勝寺は、成田市のある中心にある。940年の創始で、今日では毎年1,000万人を超える参拝客が訪れる、東日本で最も人気な寺院の一つである。初詣(first shrine or temple visit of the New Year)で訪れる参拝客の数は、日本のお寺の中で一番多いと言われ、300万人もの人々を出迎えている。成田山新勝寺は、密教真言宗智山派を主導する3つの寺院のうちのひとつ。多くの日本人にとっては、炎の儀式で知られている。

護摩祈禱は、不動明王の前で行われる日々の儀式で、不動明王とはあらゆる障害や不浄を燃やし去る、智慧の仏のひとつ。悟りに向かう人々を助ける存在である。儀式は日に2回行われる。

境内の広さ220,000平方メートルの成田山において、五つの建物が重要文化財に指定されている。旧本堂である光明堂と釈迦堂、三重塔、仁王門と額堂である。いくつかの建築は300年以上の歴史を持ち、近世の寺院建築を知ることができる貴重な場所となっている。